

平成 29 年 第 7 回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 29 年 7 月 18 日 開会

平成 29 年 7 月 18 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成29年 第7回定例会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成29年7月18日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第10号 教育長の一般経過報告について
 - 2 報告第11号 平成29年岩見沢市議会第2回定例会について
 - 3 議案第33号 岩見沢市教科用図書採択について
 - 4 協議第8号 岩見沢市文化財保護委員会委員の選出方法について
 - 5 協議第9号 岩見沢市民会館運営委員会委員の選出方法について
- そ の 他

○本委員会に出席した者

| | |
|-------|---------|
| 教 育 長 | 三 角 光 二 |
| 委 員 | 武 藏 輝 彦 |
| 委 員 | 秋 山 信 也 |
| 委 員 | 渡 邊 律 子 |
| 委 員 | 杉 野 幹 夫 |

| | |
|------------------|---------|
| 教 育 部 長 | 山 下 修 |
| 学 校 教 育 課 長 | 加 藤 信 浩 |
| 指 導 室 長 | 松 本 伸 彦 |
| 学 校 給 食 課 長 | 合 川 和 幸 |
| 生涯学習・文化・スポーツ振興課長 | 相 河 学 |
| 教 育 施 設 課 長 | 清 水 誠 志 |
| 子 ど も 課 長 | 所 美 穂 子 |
| 図 書 館 長 | 杉 原 理 美 |
| 緑陵高等学校事務長 | 川 原 卓 也 |
| 事務局学校教育課総務係長 | 石 川 貴 規 |
| 事務局学校教育課総務係 | 浦 下 真 実 |

午後 2 時 0 0 分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から、平成 29 年第 7 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、秋山委員さんをお願いいたします。

初めに、日程番号 1、報告第 10 号 教育長の一般経過報告について 私から説明いたします。

6 月 15 日から記載されております。

16 日、市議会第 2 回定例会、一般質問が行われました。これにつきましては、後ほど山下部長より説明があります。

24 日、中学校選択制度学校説明会がありました。各委員さんを初め保護者 40 名以上が参加し、説明会終了後、ブースに分かれて個別の会議がありました。

27 日、教育長を囲む P T A 会長の会に出席しております。ここでは、市内 20 校の P T A 会長がそれぞれ交流し、情報交換をしたところでございます。

7 月 1 日、教育大学岩見沢校で開催された第 3 回アダスポ！岩見沢では、幼児、高齢者、それから障がい者におけるアダプテッド・スポーツの普及・振興を目的としており、イベントに参加しております。

5 日、臨時校長会議では、給食の対応について説明を行ったところでございます。

7 日、第 3 回岩見沢市高校適正配置連絡会議に出席しております。これにつきましては、6 月 6 日に案が公表され、それから 4 月 4 日に開催された道議会、予算特別委員会の質問・答弁の中に、岩見沢緑陵高校の問題も取り上げられたことから、この様子について報告しております。

以上です。

委員の皆様からご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 それではご意見ご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続きまして、日程番号 2、報告第 11 号 平成 29 年岩見沢市議会第 2 回定例会について 説明をお願いいたします。

○山下教育部長 市議会第 2 回定例会は、6 月 12 日から 23 日までの会期で開催されたところです。

教育委員会から提出しました議案は、平成 29 年度一般会計補正予算、これは第 5 回教育委員会定例会で議決いただいたもので、国の保育所等整備交付基準額増額に伴うひまわり保育園に対する建築補助金増額についての 1 件でしたが、市長部局からは、中央小学校改築工事、主体工事・電気設備工事・機械設備工事の 3 本の請負契約、総額で 19 億 80 万円の締結議案が提出されました。

16 日より 3 日間の日程で行われた一般質問では、資料のとおり 5 人の議員から市長に答弁を求めた 3 項目を含め、8 項目にわたる質問がございました。

野尻議員は、改訂学習指導要領に基づいて、道徳が教科化されることになったことに伴い、そのねらいと児童生徒に育てたい力について問われ、児童生徒が高い倫理観を持ち、多様な価値観を認め、より豊かな人生を送るための資質・能力を育成することがねらいであり、主体的に考え、議論し、協働してより深く学ぶ力を育んでいきたいと答えました。

また、道徳科の評価基準についても問われ、数値ではなく記述式であり、他の児童生徒と比較するのではなく、個人内評価として行うことになっていると答えました。

酒井議員は、性的マイノリティについての教育現場での対応について問われ、管理職を初めとした全ての教職員が研修を通じて正しく理解することが必要であること、各学校に対して、差別を許さない適切な生徒指導や人権教育を推進するよう指導していくと答えました。

大和議員は、パラリンピック合宿誘致の効果と現状及び今後の動向について市長に対し質問され、障がいのある方々にも住みよいまちづくりに対する市民の意識向上が効果として挙げられること、カナダ・パラリンピック委員会が9月に合宿地を決定するまで引き続き粘り強く交渉していくという趣旨の答弁を作成いたしました。

インクルーシブ教育の現状については、特別支援学級に在籍する児童と障がいのない児童が、体育や道徳などの時間に共同学習を実施することによって、障がいについて知る機会となり、相互理解が促進されること、各学校の実情に応じて合理的配慮がなされるよう指導体制を整備していると答えました。

また、アダプテッド・スポーツを活用したインクルーシブ教育の推進について問われ、教育大学とのさらなる連携により、児童生徒のアダプテッド・スポーツを体験する機会の拡充などを検討していくと答えました。

檜館議員は、スポーツ施設の修繕・長寿命化の経緯と今後の大規模改修・統廃合の方針について市長に対し質問され、策定を進めている公共施設再編基本計画を踏まえ、統廃合や長寿命化改修について個別の検討を進めていくという趣旨の答弁を作成いたしました。

斉須議員は、食品ロスの減量化について市長に対し質問され、教育現場では栄養や体づくりに関心を持たせる指導や残さず食べる給食指導とともに、無駄のない賢い消費についての学習に引き続き取り組んでいくという趣旨の答弁を作成いたしました。

21日に開催されました総務常任委員会では、議案に係る審議が行われましたが、教育委員会に対する質疑は行われず、最終日の23日に、補正予算、中央小学校の契約締結ともども原案のとおり可決されました。

また、同日、公立高等学校配置計画案の見直しを求める決議案が全会一致で可決されました。

以上であります。

○三角教育長 ただ今、報告第11号についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武蔵委員 中央小学校の件について、北海道新聞で設備工事の談合情報みたいなものが

載っていましたが、議会では特に何も問題にならなかったのでしょうか。

○山下教育部長 共産党の上田議員から一般質問がありました。

○武蔵委員 市長から答弁したのでしょうか。

○山下教育部長 そうです。入札後の情報ということで、入札自体の評価が不正という性質のものではないという趣旨の答弁がなされております。

○武蔵委員 わかりました。

○三角教育長 ほかに、ございますか。

それではご意見ご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続きまして、議案に対する提案理由について説明を求めます。

○山下教育部長 議案第33号 岩見沢市教科用図書の採択について。

平成30年度から北海道岩見沢緑陵高等学校で使用する教科用図書の採択についてご審議を願うものであります。

○三角教育長 それでは、日程番号3、議案第33号 岩見沢市教科用図書の採択についてを審議いたします。

説明をお願いいたします。

○川原緑陵高等学校事務長 それでは、議案第33号 岩見沢市教科用図書の採択についてご説明いたします。

市立高等学校で使用する教科書の採択につきましては、翌年度使用する教科書について、毎年度、学校長が選定し、教育委員会が採択することとなっており、平成30年度に使用する教科書の採択につきましてご提案させていただきました。

初めに、議案資料の見方等についてご説明いたします。

1枚めくっていただきまして、平成30年度使用高等学校用教科用図書選定結果報告書についてでございます。この様式は、昨年度と同様に道立学校長が選定し、北海道教育委員会に対して提出する報告書様式を踏襲したものであります。

表ですが、一番左、部につきましては、全部1がついておりますが、これは新学習指導要領に基づいて編集された文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書の区分であり、今回選定したものは全てこの検定済教科書であります。

次に、使用歴欄ですが、新規の場合は新規欄に1、前年度から継続して使用するものについては継続の欄に継続年数を記載しております。

選定理由の欄につきましては、選定した教科書ごとに教科書の採択に関する観点として最も重要とした観点を選択し、記載しております。

区分につきましては、4ページめくりますと別紙というのがありますが、その中に教科書の採択に関する観点ということで、1が内容の取り扱いについて4つの項目を挙げております。2として単元の構成、配列及び分量についてということで、3つの選択肢を設定しております。その他につきましては、4つの選択肢を設定してございまして、最も適切なものを選定理由として記載しております。

道立高校につきましては、この報告書の提出となっておりますが、ご審議いただくには見づらいということで、別途資料ということで横の表になっておりますが、平成30年度使用高等学校用教科用図書選定資料ということで配付させていただきました。選定理由の欄には、報告書の選定理由の補足としてコメントを記載しております。検定済図書数は、高等学校用教科書目録の中から対象となる図書数でございます。また、検討に加わった人数は各教科担当の教員で検討した結果でございます。

それでは、選定結果につきまして、国語を例に説明いたします。

横表の資料をご覧いただきたいと思いますが、国語につきましては、国語の教員5名により検討がなされ、国語総合、現代文B、古文、漢文について5点が選定されております。選定された教科書につきましては、国語総合が2年目の継続使用で、残り4点が平成30年度から新たに使用することとしております。選定の理由といたしましては、報告書の選定理由欄の選択肢と資料に記載のとおりとなっております。

以上のような視点で、次に、地理、歴史、公民におきましては、12点が選定されております。新規が1点、継続が11点となっております。

数学につきましては、新規が2点、継続が4点となっており、計6点となっております。

理科ですが、新規が6点、継続が2点、計8点となっております。

保健体育、芸術の音楽、美術、書道とも継続となっております。

英語は、新規が3点、継続は4点の計7点となっております。

家庭科は、継続が2点、新規が1点、計3点となっております。この家庭科ですが、情報コミュニケーション科の家庭科が、平成30年度より3年から2年に移行することとなったため、新規として記載しております。

商業では、新規が6点、継続が9点、計15点となっており、情報につきましては、継続が4点となっており、以上全体で64点が選定されております。後方に選定した教科書を並べております。

以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○三角教育長 ただ今、議案第33号についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武蔵委員 沢山の中から選定した図書ということは、いずれも各教科の先生方のグループでしっかりと検討した結果だと思っておりますので、異議はございません。

○三角教育長 それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、議案第33号につきましては、原案のとおり決定いたします。

続きまして、日程番号4、協議8 岩見沢市文化財保護委員会委員の選出方法について審議いたします。

説明をお願いいたします。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 協議8 岩見沢市文化財保護委員会委員の選出方法についてご説明いたします。

岩見沢市文化財保護委員会委員の任期が10月15日をもって満了となりますことから、次期委員の選出方法についてご協議を願うものでございます。

資料の2枚目・3枚目に、現在の委員名簿と関係条例の抜粋を添付しておりますが、引き続き定数の上限でございます10名を選出させていただきたいと思っております。

選出に当たりましては、従来どおり郷土史や産業史、民俗文化などの分野と建造物の専門の方から8名、残り2名につきましては、文化財に関する知識のある新たな人材を発掘するため、引き続き市民から公募して選出したいと考えております。

資料の4枚目に公募の実施要領を添付しておりますが、募集期間を8月7日から8月21日までとし、広報8月号及び市のホームページで周知をいたします。応募者の選考は、教育部内における選定委員会で書類選考を行い、知識経験者の選出委員とあわせて9月の教育委員会に提案をさせていただきたいと考えております。

以上でございます。ご協議のほどよろしくお願いいたします。

○三角教育長 ただ今、協議8についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

○武蔵委員 専門的な知見が必要な部分もあるかと思っておりますので、ふさわしい方を選んでいただきたいのと、大抵毎年決まった方が選出され、高齢化が進んできているように見受けられます。今は皆さんお元気でいらっしゃると思いますが、やはり将来的に若手の、次を担ってくれる人たちにも入ってきていただくと安定するのかなと思っております。その辺を踏まえて選考していただきたいと思っております。

○渡邊委員 42歳の北海道大学院の方は、札幌在住のようですが、岩見沢市とどのような関係のある方ですか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 詳しくは承知をしていませんが、北海道史を専門とされている方を大学で選出をしていただき、谷本先生にお願いをしたという経緯かと思っております。

○渡邊委員 わかりました。

○三角教育長 ほかに、ございますか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、よろしくお願いいたします。

続きまして、日程番号5、協議9 岩見沢市民会館運営委員会委員の選出方法についてを審議いたします。

説明をお願いいたします。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 協議9 岩見沢市民会館運営委員会委員の選出方法についてご説明いたします。

岩見沢市民会館運営委員会委員の任期が10月19日をもって満了となりますことから、次期委員の選出方法についてご協議を願うものでございます。

資料として、現在の委員名簿と関係条例の抜粋を添付しております。定数の上限でございまして14名を選出させていただきたいと思っております。

選出に当たりましては、従来どおり社会教育関係者として社会教育委員の中から2名、学校教育関係者として校長会から1名、学識経験者として教育大学岩見沢校から2名、地域文化団体から2名、施設利用団体から5名の計12名を選出し、残りの2名につきましては施設の運営サービス等に関心のある市民から意見をもらい、施設運営のより一層の充実を図るため、文化財保護委員と同様、市民から公募して選出したいと考えております。

公募方法等につきましては、文化財保護委員の公募と同様でございます。応募者の選考後、他の選出委員とあわせて9月の定例教育委員会に提案をさせていただきたいと考えております。

以上でございます。ご協議のほどよろしく願いいたします。

○三角教育長 ただ今、協議9についての説明がございました。委員の皆様からご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武蔵委員 前は、公募委員が1名しかいませんでしたね。公募委員を募集するにも、興味を持ってもらえないとなかなか見えてこない部分があって、PRの仕方を検討したほうがいいと感じましたが、特に、今の段階では問題ないと思っております。

○三角教育長 ほかに、ございますか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 それでは、この件についてご異議がなければ、このようなことで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、よろしく願いいたします。

続きまして、その他に移ります。委員の皆様から何かございますか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 特になければ、事務局から何かありませんか。

それでは、ほかになければ、来月の定例会の日程ですが、8月8日が第3火曜日となりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。時間は午後2時からということでよろしいでしょうか。場所については、であえーる岩見沢4階の会議室1で行います。

それでは、よろしく願いいたします。

以上をもちまして第7回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労さまでした。

午後2時25分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員